

NETIS 等新技術(工法、材料、機械、製品、システム) 導入・活用研究会 1305 大阪

NETIS登録約 4,500 件、数多く登録されている新技術をWEBのみでの確な選択、評価、内容の把握は難しく、直接に説明を受けたり質疑応答等の機会があればとの要望に応えるべく、NETIS登録及び登録予定の企業と導入・活用する立場にある行政・建設企業の技術者の方々が双方向で学習・研究することを目的に開催致します。

WEBや紙資料では得にくい新技術(工法、材料、機械、製品、システム)に関する開発・設計・施工の知識、総合評価での導入ヒント、創意工夫のアイデア等相互研鑽します。積極的な参加をお待ちしております。

【日 時】平成 25 年 5 月 14 日(火) 12:45 ~ 16:55 (受付 12:30 より)
【会 場】土木学会関西支部会議室 大阪市中央区船場中央 2-1-4-409

プログラム(概要)		発表企業
はじめに ワンポイントレッスン「NETISは発展途上」		
全面粘着剤を塗布した『コンクリート保水養生テープ』により、脱枠後のコンクリートを封緘して散水作業を無くし剥がすまで、水中養生同等の養生状態と強度向上、ひび割れ低減を実現。		住友スリーエム株式会社
『V ゲート』はゲリラ豪雨や津波による地下鉄・地下街など地下施設等の出入り口への浸水を寸時に完全に止水、防潮堤や水門などにも応用、操作やメンテナンスが簡便、電力不用で止水を実現。		木下工業株式会社
下水道工事経験を活かしマンホール築造工事に着目し、専用土木機械を開発し、工期短縮、コスト削減を図る『立抗兼マンホール構築システム(Vホール工法)』の技術を確立し実績を蓄積中。		福岡建設株式会社
ワンポイントレッスン 「新技術導入・活用の視点」		
『堆積土類<浄化・減溶>維持管理工法』は溜池保水能力回復を目的に沈殿土砂類を攪拌・溶解・分散・洗浄し、必要最小限の汚泥処分により従来の工法から経費 60%を削減し、保水能力も回復。		有限会社 アクス京都
移動型建設発生土有効利用システム『土壌くん』により、環境負荷を軽減し、品質の向上を実現。		巴山土木
常識を打ち破る 4.0mの新型覆工板『プレストレスデッキ』により、大幅な工期短縮とコスト縮減を実現。		大商鋼材株式会社
まとめ		

【CPD、CPDS等について】 JCM:CPDSの認定取得、4ユニットが得られます。

又建設系CPD協議会の相互認定により加盟団体(会員)のCPDが得られます。

【定 員】 30名(定員になり次第締め切ります。)

【受 講 料】 無料。但し1企業、1団体・機関 2名まで限定。

【主催者・問い合わせ】 有限会社 えん総合研究所 大阪府高槻市真上町 3 丁目 7 番 35 号

TEL & FAX 072-682-8961(担当:長谷)メール in@en2.jp HP http://www.en2.jp

【講師紹介】 有限会社 えん総合研究所 代表取締役 長谷 利男(進行役、ワンポイントレッスン担当)

建設企業の経営戦略の策定、営業力強化指導、新分野進出調査・策定、開業指導、階層別・テーマ別研修(経営幹部管理職、現場主任、新入社員、目標管理等)やISO9001、14001等の構築指導。土木学会会員、日本建築学会会員。

発表企業の説明者の方々

企業の紹介、開発の背景・動機、苦勞・苦心、新技術・新工法・新資機材の概要、特徴、販売、価格、生産・納品体制、実績、成果、現在の課題、今後の展開などについて可能な限り情報開示・説明。状況により長谷が代行説明致します。

【お申込方法及び代行申請】

申込書をご記入、FAXまたはメール(申込書ファイル添付)でお申し込み下さい。折り返し「受付済み」並びに受講券をメールにて連絡致します。1企業 2名まで限定、先着順に受付し定員を超える場合、今後の開催予定他で連絡致します。尚弊社はCPDS受講実施機関として講座修了後受講者に代って学習履歴申請をします。該当者はJCM(社団法人全国土木施工管理技士会連合会)「CPDS技術者証」(カード)をご持参下さい。CPDS対象者の受講証明書を発行しませんので注意して下さい。

【受講申込書】

FAX 072-682-8961

講座名	NETIS等 新技術(工法、材料、機械、製品、システム)導入・活用研究会 1305大阪		開催日	平成25年5月14日(火)	
会社名		所在地	〒		
申込責任者	氏名	E-mail			
	役職	TEL	FAX		
参加者フリガナ 氏名・年齢		才			才

【個人情報保護】 弊社では経営コンサルティング業務、社員教育、新商品・サービスに関する情報をお知らせする目的で個人情報を保有しております。頂いた個人情報はセミナー受講券の発送などに利用いたします。又今後前述の目的にも利用いたします。

